

自民党

2024年  
4月号

明石市議会

自由民主党明石

明石の成長と発展。私たちが前へ進めます！

ごあいさつ

明石市議会 自由民主党明石  
幹事長 千住 啓介

3月議会において令和6年度一般会計予算を可決いたしました。

自由民主党明石としては、行政側と少し政策的な相違はありますが、丸谷市政初めての予算編成でありますので、各事業に関しては意見ないし提言に止めさせていただきました。一度様子を見ようということです。しかしながら、市民に負担がかかることは避けるべきということで、阪神水道企業団への加入金約5.1億円を、水道事業会計でなく、一般会計からの支出をするべきだということで修正予算を提出いたしました。(結果否決)

我々は地域経済をしっかりと前へ進め、市民の所得増を実感できるように取り組んでまいりました。丸谷市政もそうであろうと思っておりましたが、中にはどうなんだ?と疑う事業もありました。脱炭素に向けた省エネ・再エネ設備の導入促進事業です。この事業は主に太陽光発電設備等への補助事業であります。この補助対象者はほとんどが市外業者であり、そもそも、既存の太陽光パネルの開発の約8割は中国企業によるもので、さらにそのうちの6割がウイグルが関わる材料でつくられていると言われております。

太陽光パネル開発においてウイグル人への拘束や強制労働、高度技術による監視などの人権侵害があると世界から言われている現状の中、また市内への経済循環が少ない事業に3,500万円の市税を投入するのは、SDGsを全面に押し出す本市としてふさわしいものか?という苦言を呈しました。

また、我々は否定だけでなく建設的な議論、提案も行わなくてはなりません。次の成長

戦略も構築していかななくてはなりません。我々自由民主党明石は、外貨を呼び込み、地域内経済がしっかり循環する『観光都市明石』も目指すべきと考えます。

2023年の外国人宿泊延べ人数を大阪と兵庫で比較すると、大阪府1,848万人に対して兵庫県は102万人であり、大阪の5%ほどであります。この要因の一つは過去の政治判断があったと考えています。大阪空港(伊丹空港)の騒音問題等があり、国は次の空港建設地を探していました。神戸港沖が有力視されていましたが、当時の革新系の神戸市長(のちに革新系政治を否定している)は神戸沖の建設に反対をし、関西国際空港は今の泉州沖に建設されました。もし仮に神戸港沖に開港があれば、兵庫の経済や明石市の経済は大きく好転していたように想像できます。即ち政治の判断で将来を良くも悪くも左右してしまうことがあるということです。しかしながら、このことに悲観ばかりすることなく、大阪100に対して兵庫は5でありますから、のびしろがまだまだあるという前向きにとらえ、外貨を呼び込む地域経済活性化事業を手掛けたと考えています。我々自由民主党明石は未来に責任を持ち続け、的確な政治判断の元、明石市の経済を前に進めてまいります。



明石は、食料と食事は最も得意で、何よりも便利で安心なまちです。

## 明石市 2030-40 問題 明石市の財政見通しについて

自由民主党明石は、地方財政の専門家である中京大学の齋藤由里恵准教授に監修を依頼し、『明石市の財政見通し』を作成しました。

その中で、明石市の財政状況は、現時点では健全であるものの、将来については現状維持では乗り越えられない課題が改めて浮き彫りになりました。特に、人口減少と高齢化の進行は、税収減少と社会保障費の増加という2つの財政的圧力をもたらします。2020年代をピークに人口が減少し、2030年には約30万人、2050年には約27万人になると見込まれています。この人口動態は、労働年齢層の縮小と高齢者人口の増加を意味し、税収の減少と高齢者向けサービスへの費用増加を示しています。現状の市税収入は増加傾向にあり、財政収支のバランスも良好ですが、人口が30万人を割ると明石市が事業所税の課税団体

の定額減税が歳入に一時的な影響を及ぼすことも予想されます。これらの問題に加えて、明石市は新庁舎建設、新ごみ処理施設建設、市民病院の老朽化対策など新規事業への投資が必要ですが、これらの事業には多額の費用がかかり、市債の発行や公債費といういわゆる借金の増加を招くことが懸念されます。大型の新規事業を計画しているものの、これらは財政負担の増大を引き起こし、今実施しているすべての施策を今の条件のまま実施することは困難になり、2030年~2040年の間に明石市の財政運営の方針転換を迫られることが予想されます。結論として、明石市の財政は人口減少と社会構造の変化に伴い、収入減少と支出増加のジレンマに直面しており、持続可能な財政運営への課題が多岐にわたって存在します。その上、大型新規事業への投資による財政負担の増大は避けられません。これらに対処するためには、事業仕分けなどを実施し、効率的かつ効果的な歳出管理と、長期的な視点での財政戦略が求められます。安定した財政運営を維持するためには、投資の平準化や計画的な歳出管理が重要であり、同時に税収を増加させる戦略として、明石市が成長していくための経済活動を促進し、より高い付加価値を生み出せるような政策が必要であり、行政の役割を果たしていくことが求められます。自由民主党明石は明石市を監督する立場として、財政健全化と経済成長の両立を目指し、明石市の未来に責任を持って取り組んでいきます。

明石市財政

2030-40問題

2030年以降人口減少による事業所税削減

大型投資集中による公債費増大

物価人件費高騰による歳出増加

→ 新規事業の実行予算不足

から外れるリスクがあります。課税団体でなくなると事業所税による税収約16億円が減少につながります。また、消費増や物価上昇の影響で交付金が増加する一方で、人件費を始めとする経費の支出が増えることが見込まれ、2024年度

## 明石市水道経営破綻のリスク

自由民主党明石は、令和6年度水道事業会計予算案に対し、修正動議を提案しました。この修正動議では、令和6年度水道事業会計から阪神水道企業団への出資金5億1,200万円(総額10億2,400万円の半分)を、明石市の一般会計から支出に変更することを提案しています。この変更の提案は、令和2年度の明石市包括外部監査報告書でも既に改善を指摘されていた水道事業会計について何も対策を講じていないにもかかわらず、減少を続けている内部留保金から支出を行う計画がなされていたためです。

特に、水道事業会計の状況に対する危機意識を持ち、建設企業常任委員会においても以下の点を指摘しました。①令和6年度水道会計が赤字予算であること、②現在約61億円の内部留保金があり、そのうち約10億円が出資金として支出される計画は経営破綻を早めかねないこと、③大規模災害時の即時復旧費用として25億円から30億円の内部留保が絶対に必要であること、④現在の経営状況が続けば、早ければ令和7年度末には内部留保金が25億円を下回ること、⑤経営努力(経費削減)にも限界があり、料金改定が必要であるが、それには最低2年の準備期間が必要であること。などの

問題点を明確にしました。

これらの情報を踏まえ、水道事業会計からの出資金支出が進められると、水道料金の値上げが早期に実施され、その上で段階的ではなく一度に大幅な値上げが必要になる可能性が高いと考えられます。水道は生活に必要不可欠なサービスであり、収益源が水道料金のみであるため、内部留保が減少し経営が困難になれば、料金を上げるしかなくなります。これらの理由から、市民の生活を守るために修正動議を提出しましたが、残念ながら修正に賛成13票、反対16票により否決されました。

水道会計の経営危機が目前に迫っていますが、自由民主党明石はできる限り市民に負担をかけないように努めてまいります。





# 明石蛸の資源再生に向けた取り組みをはじめます！ ～豊かな海づくり～

明石の海では、海洋資源が年々減少しているという深刻な状況に直面しています。この問題に対処するため、自由民主党明石は、これまで国や県と密接に連携を取り、海の栄養状態を改善する目的で、浄水場における栄養管理運転や海の栄養分布に関する詳細な調査を含む、様々な取り組みを推進してきました。これら長年にわたる努力が、海藻類の生育環境に良い影響を与えた可能性があり、特に明石の海苔の収穫量は、他地域に比べても堅調に維持されています。

しかしながら、明石を象徴する魚種であるタコやイカナゴの漁獲量は、年々減少を続け、かつての最盛期に比べるとわずか5%～10%ほどの水準にまで落ち込んでいます。この厳しい状況に対応するため、令和4年度に明石市議会は「豊かな海づくり条例」を制定し、市として本気で明石の海の豊かさを守り育てるための準備を進めてきました。そして、今年度は公益財団法人ひょうご豊かな海づくり協会と共同で、「真蛸の種苗技術開発支援事業」を立ち上げます。このプロジェクトの目的は、明石にとって宝であるタコの生息数と漁獲量を再び増加させることです。その方法は、タコの卵を採取し、人工的に孵化させ、幼生が3cm程度に成長するまで育てた後、海に放流する手法が採用されています。タコを対象としたこのような取り組みは初めての試みですが、鯛に関しては既に成功事例があります。多くの魚種が減少傾向にある中で、鯛の漁獲量は増加しており、この成功をタコの保護・増殖にも応用しようとしています。

自由民主党明石は今後も豊かな海づくりを進めます。



## 明石市議会自由民主党明石と 兵庫県歯科医師連盟明石支部会員との懇談会



明石市議会自由民主党明石と兵庫県歯科医師連盟明石支部会員との懇談会が、令和6年3月16日に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、4年ぶりの懇談会となりましたが、乳幼児や子ども、高齢者等の歯科検診をはじめ、「8020運動」の推進、「口腔の集い」などの事業を通じて、明石市民に対してご貢献いただいている歯科医師の先生方の生の声をお聞きする良い機会となりました。

歯科医師連盟明石支部会員の先生方からは、令和2年に明石市民病院に隣接して、障害のある方も、子どもも高齢者も、外国人もすべての人が歯科診療を受けることの出来る全国でも特色のある「明石ユニバーサル歯科診療所」が開設され、順調に良質な歯科診療が行われている報告がありました。

そして、協議事項では、最近の明石市政について、明石市民病院のこれからの在り方、「歯と口腔の健康推進条例の制定」についてのテーマで、私たち議員と活発な意見交換がなされ、大変有意義な懇談会となりました。

いただきました貴重なご意見、ご要望はこれからの明石市政にしっかりと反映して参ります。

**千住 啓介** 幹事長  
【所属委員会】建設企業常任委員会 委員長  
【事務所】二見町福原  
Tel: (事務所) 078-915-0137  
Mail: sen1010@camel.plala.or.jp

**石井 宏法** 副幹事長  
【所属委員会】総務常任委員会 委員長  
議会運営委員会 副委員長  
【事務所】林3丁目  
Tel: 078-922-1181

**井藤 圭順** 会計幹事・監査委員  
【所属委員会】総務常任委員会  
【事務所】大寺2丁目  
Tel: (事務所) 078-911-4087

**辰巳 浩司**  
【所属委員会】総務常任委員会  
【事務所】東仲ノ町  
Tel: 078-911-4834

### 明石市議会 自由民主党明石

私たち明石市議会 自由民主党明石は8名の議員で構成。明石市議会の重責を担う会派としての責任と覚悟を持って市民の皆様への代表者として頑張っています。

**三好 宏**  
【所属委員会】文教衛生常任委員会 副委員長  
【事務所】吉明石南町2丁目  
Tel: (事務所) 078-922-0201  
Mail: gombare@myohiro.net

**榎本 和夫**  
【所属委員会】議会運営委員会  
生活文化常任委員会  
【事務所】大久保町高丘6丁目  
Tel: (事務所) 080-4007-4148

**灰野 修平** 明石市議会 副議長  
【所属委員会】文教衛生常任委員会  
【事務所】大久保町駅前1丁目  
Tel: (事務所) 078-936-0055  
Mail: haiino0055@gmail.com

**出雲 有希子**  
【所属委員会】建設企業常任委員会  
【事務所】大湊町2丁目  
Tel: (事務所) 080-9333-7331

ご意見・お問い合わせ

明石市議会 自由民主党明石

FAX 078-918-0466 MAIL contact@jimin-akashi.jp HP https://jimin-akashi.jp

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

※いただきましたご意見は議会活動の参考にさせていただきます。 ※この広報紙は政務活動費で発行しています。